

会報

KAI-HOU

No.325
2016.11.15



熊本地震支援「こーぷ喫茶でたこ焼きパーティ」

[開催報告]	2016年度第3回理事会	1
[開催報告]	理事・監事研修会 第2回「経営分析の基礎」	21
[開催報告]	熊本地震支援活動	22
[参加報告]	平成28年度 近畿地方整備局・大阪府・堺市合同総合防災訓練	23
[連載]	「サラダボウル～ひとりひとりが輝いて～」	24
[スケジュール]		26

大阪府生協連 2016年度第3回理事会開催報告

開催概要

- I. 日 時 2016年10月20日(木)
15時～17時10分
- II. 場 所 大阪府社会福祉会館 5階505
- III. 出席者
(会長理事) 惣宇利
(副会長理事) 柴橋、藤井
(専務理事) 中村
(常任理事) 入船、江口、木田、中谷、羽多野、森本
(理事) 大内、奥、勝山、清水、武田、長里、洞井、前川、松本、矢田部、渡邊
(監事) 関戸(16時33分 報告事項7まで出席)、谷川

以上、理事総数25名中21名出席、監事総数3名中2名出席

- (欠席理事) 北川常任、今宮、篠原、西村
(欠席監事) 吉川

IV. 議長 惣宇利会長理事

V. 議事の経過と要領との結果

定刻になり、惣宇利会長理事が議長として、理事総数の過半数以上の出席をみたので、理事会の議決要件を充足した旨を告げ、開会を宣し議事を進行了た。

審議事項

1 会員の合併の件

小山事務局長より、大学生協阪神事業連合を存続生協とする、大学生協京都事業連合、大学生協北陸事業連合との合併(期日2016年9月1日)、名称変更「生活協同組合連合会大学生生活協同組合関西北陸事業連合」に関して、合併届が提出された旨報告がされた。

討議の結果、全員異議なく承認された。

2 2017年新年講演会開催企画の件

小山事務局長より、2017年新年講演会の開催企画について、提案がされた。

討議の結果、提案どおり全員異議なく承認された。

- [日 時] 2017年1月19日(木)
13時30分～16時05分

終了後、同ホテルにて懇親交流会

- [場 所] 天王寺都ホテル
6階「吉野」の間
- [開催規模] 会員生協役職員150名
- [テ ー マ] 『おひとりさまを支える地域づくり』

[開催趣旨]

日本の人口は2008年の1億2,808万人をピークに減少局面に転じ、2015年は1億2,711万人と2011年から5年連続で減少しています。高齢化は急速に進展し、2015年の高齢化率(65歳以上人口割合)は26.7%と過去最高となりました。将来においても一貫して上昇していくことが見込まれ、日本は世界で最も高齢化が進んだ国となりました。

高齢者のいる世帯の世帯構造別の構成割合では、1986年は約半数が三世帯世帯であったものが、2015年は約4分の1が「単独世帯」となり、「夫婦のみ世帯」と合わせると半数を超える状況です。高齢者の社会からの孤立無縁化がますます懸念されます。

超高齢社会の中、最後まで自分らしく生きていく上での大切なこと。また高齢者が生き生きと暮らせる社会づくりや、多くの組織や人が関わって高齢者を支える地域づくりなど、高齢・人口減少・単身社会が進む中、求められる地域社会や地域福祉とは、その中で生協はどのような役割を果たすことができるのかなどについて学びます。

[開催要領]

- 13:00 受付・開場
- 13:30 開会・新年のご挨拶
大阪府生活協同組合連合会
会長理事 惣宇利 紀男
- 13:50 ご講演『おひとりさまを支える地域づくり』
認定NPO法人
ウィメンズアクションネットワーク(WAN)
理事長 上野 千鶴子 様
- 15:20 休憩
- 15:35 会場からのご講演に対する質問カードや発言等による質疑

16:00 閉会

引き続き、懇親交流会

3 熊本地震被災地支援活動の件

小山事務局長より、熊本県生協連及び生協くまもとからの要請を受け、熊本地震の支援活動について提案がされた。

討議の結果、提案どおり全員異議なく承認された。

なお、松本理事より「ボランティア募集対象者となる府連の東日本大震災支援活動参加者の人数について」質問が出された。また藤井副会長より「支援活動の予算及び取組み後の経費報告について」意見が出された。

① 仮設住宅サロン「こーぶ喫茶」への支援

- 日程 11月3日(木)～4日(金)
- 内容 益城町、熊本市の仮設住宅でのサロン活動「こーぶ喫茶」にて、たこ焼きパーティーの実施
- 運営 府連の東日本大震災支援活動参加者にボランティア募集（4名程度）

② 12月映画会への支援

- 日程 12月3日(土)～4日(日)
- 内容 映画会（2会場）で、たこ焼き屋台を実施
- 運営 府連の東日本大震災支援活動参加者にボランティア募集（6名程度）

③ たこ焼き器贈呈

- サロン活動やイベント等で活用いただけるようたこ焼き器をお送りします。

4 大阪府生協連2016年度上半期決算報告の件

中村専務理事より、府連の2016年度上半期決算について報告がされた。

討議の結果、提案どおり全員異議なく承認された。

報 告 事 項

大阪府生協連

1 研修会開催報告

(1) 第1・2回理事・監事研修会

○第1回

- [日 時] 2016年7月26日(火)
 午前の部 10時～12時30分
 午後の部 13時30分～16時
- [場 所] エル・おおさか 6階大会議室
- [出 席] 18会員、講師、大阪府、府連
 合計77名

いずみ	18名	よどがわ	13名	グリーン	1名
パルコブ	16名	こうべ	2名	自然派	1名
生活クラブ	1名	北大阪	8名	けいはん	1名
はびきの	2名	ほくせつ	1名	経済大	1名
樟蔭女子	1名	近畿大	1名	学校生協	2名
市民共済	2名	全労済	1名	大阪府	1名
講師	1名	府連	3名	合計	77名

[内 容]

【午前の部】

(1) 大阪府からの挨拶・生協検査における指摘事項等

男女参画・府民協働課 府民協働グループ

副主査 馬本 正徳 様

※報告内容は別冊資料参照

(2) 講義『生協における役員の職務・責任』

日本生活協同組合連合会 総合運営本部

法規会計支援部長 宮部 好広 様

- ① はじめに～ICA 声明と生協法
- ② 生協の活動・運営に関する法的なルール
- ③ 生協の機関
- ④ 非常勤役員の役割と責任

(3) 質疑応答

【午後の部】

(1) 講義『監事の監査業務と環境整備の課題～第4回監事監査実態調査の結果を踏まえて～』

日本生活協同組合連合会 総合運営本部

法規会計支援部長 宮部 好広 様

- ① 監事の職務の基本～法律上、求められること～
- ② 第4回監事監査実態調査結果について

(2) 質疑応答

○第2回

(21ページ参照)

(2) 社会福祉問題研修会

[日 時] 2016年7月28日(木)
10時～12時35分

[場 所] 大阪府社会福祉会館 4階401

【参加】 15会員、日本生協連、府連53名

いずみ	9名	よどがわ	5名	エスコープ	1名
パルコープ	13名	こうべ	3名	生活クラブ	3名
きづがわ	1名	北大阪	5名	けいはん	1名
ヘルス	2名	羽曳野	1名	福島	1名
南大阪	1名	よどがわ保健	1名	全労済	1名
日本生協連	1名	講師	1名	府連	3名
合計					53名

【開催内容】

- (1) 講演『地域福祉の新たな支え合いと生協への期待』
 関西学院大学 人間福祉部
 社会起業学科教授 牧里 每治 様
- ① はじめに…3度目の生協への注目
 - ② 「新たな支え合い」とは
 - ③ 小地域（小学校区）への着目
 - ④ 地域包括ケアシステム構想と生活支援サービス
 - ⑤ 変わる介護保険・地域包括ケアシステムの背景
 - ⑥ 生活協同組合への期待…新しい互酬制を求めて
 - ⑦ 地域福祉がめざしているもの
- (2) 質疑応答

- 今年度の席数は731席、内、震災避難者ご招待分の30席を除き、当選者数を701人としました。
- 70人以下の申込生協は全員当選、コープこうべは事前の確認の通り95人固定とし、その他生協からの申込人数1,208人を残席505席で按分調整の上、各生協の当選数を確定いたしました。
- 落選された821人名には「割引券」を配布いたしました。その他、生活クラブの2枚、かわち野の12枚のイレギュラー対応を加え、割引券は835枚発行しました。
- 震災避難者の申込は定員どおり30人受付しました。

〈来場実績〉

- 731発券（招待含む）し、当日来場691人 来場率は94.5%。直近5年で一番低くなりました。震災避難者の来場率は63.3%です。
- ③ 割引券使用状況
 - 割引券は835枚発行し、247人が利用されました。使用率は29.6%。
- ④ 収支
 - 支出計は2,490,848円と、昨年より4,838円増加しました。チラシ作成費は枚数が若干増加し9,558円増加。割引券作成費は枚数減により4,320円減少。当日配布プログラム作成費は、枚数を少し減らし400円減少となっています。
 - 収入見込みはチケット販売収入が1,331,900円となり、府連負担は1,158,948円で昨年より、6,738円増加しました。

2 夏休み文化企画開催報告

(1) 夏休み文楽鑑賞のつどい

① 開催概要

【日 時】 2016年7月29日(金)
 開演11時 終演13時20分

【会 場】 国立文楽劇場

【後 援】 大阪府

【開催要領】 10:00 正面入口
 10:15 2階開場
 10:45 幕開三番叟
 10:50 開演アナウンス
 主催者挨拶
 11:00 五条橋
 11:15 解説・ぶんらくってな
 あに
 11:35 休憩
 11:50 新編西遊記GO WEST!
 13:20 終演

② 申込・当選結果・来場実績

- 12生協から1,522人の申し込みがありました。昨年実績（12生協1,820人）より298人減少しました。

(2) 夏休みファミリーコンサート

① 開催概要

【日 時】 2016年7月30日(土)
 開演11時（14時30分）
 終演13時（16時30分）

【会 場】 NHK 大阪ホール

【後 援】 大阪府

【開催内容】 10:00（13:30） 開場
 11:00（14:30） 開演
 主催者挨拶

〈序曲〉
 チャイコフスキー
 歌劇『エフゲニー・オネーギン』よりポロネーズ

〈楽器紹介〉
 オーケストラの愉快的仲間たち

〈クラシックの名曲①〉
 オッフエンバック：歌劇『天

国と地獄』序曲
 ～休憩～
 〈祝！ドラゴンクエスト30周年！〉
 すぎやまこういち
 ドラゴンクエストVより序曲
 のマーチ
 〈映画のサウンドを体感しよう！〉
 バデルト：映画『パイレーツ・
 オブ・カリビアン』
 〈ロングラン・アニメ特集〉
 サザエさん～ちびまるこちゃん
 【メドレーより】
 夢をかなえてドラえもん
 〈みんなで歌おう〉
 槇原敬之：世界に一つだけの
 花
 〈クラシックの名曲②〉
 エルガー：威風堂々 第1番
 〈アンコール ラデッキー行進曲〉
 13：00（16：30） 終演

② 申込結果

- 12生協から最終2,544人（午前の部1,278人、午後の部1,266人）の申し込みがありました。昨年実績（12生協3,392人）より、848人減少しました。
- 震災避難者ご招待は午前の部32人、午後の部26人の計58人、当日販売が9人あり、全てあわせて2611枚発券しました。

〈来場結果〉

- 発券2,611枚で来場は2,495人（95.6%）。震災避難者招待が文楽同様に67.2%と低い来場率となっています。

③ 収支

- 支出計は8,952,891円と昨年より633,936円減少しました。NHK ホールの使用料は972円増加。楽団出演料は164,468円増加、演奏曲によるエキストラ人数増、著作権料等が増加しました。チラシ作成費は印刷枚数が減少し803,520円減少。配券業務委託は契約時間を増やしたことにより4,644円増。
- 収入は、チケット販売収入見込が5,871,900円（昨年差▲434,700円）。府連負担金は3,080,991円となり、昨年より199,236円減少となりました。

3 お盆里帰りバス開催報告

[日 程] 往路 2016年8月10日(水)～11日(木)
 復路 8月15日(月)～16日(火)

[参 加] 近畿圏内で避難生活をされている方 14家族27名

[参 加 費]

[内 容]

ボランティア7名、事務局2名

無料

8/10(水) 21：00

大阪府社会福祉会館出発

8/11(木) 4：45

東京都・東京駅前着

7：40 福島県・いわき駅前着

9：15 福島県・郡山駅前着

12：25 宮城県・仙台駅前着

※以降、8/15の午後までボラ

ンティアと事務局での活動

・8/13交流会の準備

8/12(金)

・岩手県陸前高田市を語りべの

釘子さん、いわて生協の小野

寺さんの案内で視察

8/13(土)

・宮城県石巻市大橋地区仮設住

宅で、そうめん流し、手芸教

室、ゲーム大会による住民交

流会開催

8/14(日)

・福島県郡山市の社会福祉法人

くわの福祉会を訪問し、震災

当時の状況や現在の活動等に

ついて学習

8/15(月) 15：15

仙台駅前出発

18：25

郡山駅前出発

22：45

東京駅前出発

8/16(火) 5：20

大阪駅前到着

4 コヨット！ in おおさか2016夏開催報告

[日 程] 2016年8月20日(土)～24日(水)

[参 加] 福島県在住の小学生20名

〈性別・学年別〉

女子10名（4年2名、5年5名、6年3名）

男子10名（4年3名、5年3名、6年4名）

学生スタッフ14名（阪大3名、大教7名、府大2名、近大2名）

事務局2名

8/22(月)の大教大企画では、

柏原市立堅下小の生徒14名と

教員3名、大教大生協学生委員多数の参加

[参加費] 15,000円

[内容] 8/20(土)
夜
福島県郡山市出発（大型バス1台）
8/21(日)
朝
おおさかパルコプ枚方公園店着
終日
ひらかたパーク
宿泊
ホテル「アイ・アイ・ランド」（四條畷市）
8/22(日)
終日
大阪教育大学柏原キャンパスにて、堅下小学校の生徒と一緒に、大教大生協学生委員会の運営による、キャンパスツアー、たこ焼きパーティ、体験学習を実施
宿泊
新大阪ユースホステル
8/23(火)
朝
電車でユニバーサル・スタジオ・ジャパンへ
終日
USJ
夜
新日鐵住金製鋼所で夕食と入浴
協力：日鉄住金大阪生協大阪発
8/24(水)
朝
福島県郡山市到着・解散

然派)、木子(かわち野)、木田(全労済)、米岡(阪神事業連)、柳下(関西地連)、植松(きんき)、中村・小山(府連)
以上11名

[議事結果]

- (1) 熊本地震支援における各生協の取り組み及びこの間の防災減災等の取り組みの交流をした。
- (2) 大阪府生協連の災害対策における課題について、大阪府が被災した際の大阪府生協連の主な役割「大阪府との連絡窓口」「日本生協連自動送り込み商品受入態勢づくり」「会員生協の被害情報の収集」「おおさか災害支援ネットワークによる被災者支援」等から、今後課題として「対策本部の設置場所と招集」「機能不全となった場合の対応」等を確認した。
- (3) 2016年度の取り組みについて以下確認した。

【行政対応】

- ・府との定期協議の実施（第4回協議会と同日開催で調整）
- ・日本生協連自動送り込み商品の取扱いに関する相互確認
- ・防災訓練への参加
- ・緊急連絡先一覧の更新

【会員関係】

- ・BCPセミナーの実施

【日本生協連関係】

- ・近畿版広域地震対応マニュアルの精査
- ・関西地連広域連携プログラムの見直し

○第2回

[日時] 2016年9月1日(木)
15時～17時

[場所] 大阪府社会福祉会館 4階406

[出席者] 本多(いずみ)、加藤(よどがわ)、宮内(パルコプ)、片山(こうべ)、新元(自然派)、木田(全労済)、米岡(関西北陸事業連)、柳下(関西地連)、山本(きんき)、中村・小山(府連)
以上11名

[議事結果]

- (1) 第5回大阪880万人訓練(9/5)について、大阪府からの出展要請を受け、会場が泉佐野市の商業施設いこらもーるであることから同施設に出店しているいずみ市民生協ブース出展を依頼し、府連も参

5 各委員会報告

- (1) 第1・2回大規模災害対策協議会

○第1回

[日時] 2016年7月27日(水)
15時～16時40分

[場所] 大阪府社会福祉会館 4階406

[出席者] 加藤(よどがわ)、宮内(パルコプ)、寺尾(こうべ)、新元(自

加することについて報告がされた。

(2) BCP策定セミナー開催について協議し、大阪府危機管理室等の協力も得ながら、医療生協、大学生協を対象とした企画を計画することとした。

(3) 各生協のこの間の取り組みについて交流した。

(2) 第4回生協大会実行委員会

[日時] 2016年8月4日(木)
10時～11時

[場所] 大阪府社会福祉会館 4階406

[出席者] 安嶋(いずみ)、近藤・加藤(よどがわ)、木村(きづがわ)、辻(全労済)、矢田部・中村・小山(府連) 以上8名

[議事概要]

(1) 会員生協活動報告について、辻委員から全労済の「地域と連携した防災・減災啓発活動」の報告概要について紹介がされた。医療生協の「つながりMAPづくり」について、木村委員から羽曳野・堺・北野田・阪南の4生協で報告者を調整している旨報告がされた。

また、講演者の上野谷先生との打合せを受け、講演～会員生協活動報告の時間配分を見直し、講演時間を15分短縮し60分とし、その後の会員生協活動報告は当初計画のまま、1生協15分の3報告で45分、その後、15分で上野谷先生から活動報告に関する講評を行うこととした。

10:00 受付開始

10:30 開会

主催者挨拶

10:40 記念講演

同志社大学社会学部社会福祉学科教授

日本地域福祉学会会長

上野谷 加代子 様

11:55 会員生協報告(3生協から報告)

① コープこうべ「みんなの牧心里プロジェクト」

② 医療生協「つながりMAPづくり」

③ 全労済大阪府本部「防災・減災の啓発企画」

12:40 ホール企画終了

※この後、活動展示コーナーで展示鑑賞と交流

14:00 終了(予定)

(2) 展示会場での試食・試供品の提供について、各生協から検討状況の報告がされた。

よどがわ市民(産直バナナ)、いずみ市民(オレンジ・りんごジュースを紙コップで提供)、こうべ(おいものメロンパン、持ち帰り品としてクマモンパッケージ)、全労済(持ち帰り品としてグッズ類)、医療生協(すこしお生活に関連する試食品)、府連(日本生協連 おしゃべりの種セットから選択)、その他近畿ろうきんからグッズ提供、大阪府からエコ農産物の提供を検討。

(3) 会員生協へ8月下旬に発送する開催案内の内容について確認がされた。

(3) 第6回文楽・コンサート実行委員会

[日時] 2016年8月31日(水)10時～12時

[場所] 大阪府社会福祉会館 4階406

[出席] 問田(いずみ)、近藤・長尾(よどがわ)、北條(エスコープ)、植田(パルコープ)、松山(生活クラブ)、羽村・橋本(かわち野)、岡田(全労済)、長里・中村・小山(府連) 以上12名

[議事概要]

夏休み文楽鑑賞のつどい及び夏休みファミリーコンサートについて、各取り組み結果の報告があり感想・意見交換し、次年度への申し送り事項等について確認した。

(1) 夏休み文楽鑑賞のつどい

- 昨年の演目より話の内容が難しかったが迫力を感じた。イヤホンガイドが分かりやすいとの感想が多いので更に利用をすすめたい。子どもの人形遣い体験がよかった。

- 子どもが思ったより静かだった。大人でも内容が難しいと思った。字幕は必要。先日NHKで今回の演目の放送があり、その解説で話の内容が理解できた。大阪の文化を学べるよい企画。個人的には1階の資料展示室の見学がよかった。主催者挨拶の後の間がやはり長い。

- 割引券の利用が少ない。来年はお知らせを工夫したい。

- (今回から実行委員会に参加)以前に鑑賞した際に大変感動した。

- イヤホンガイドの利用はすすめたい。字幕がないと内容が分かりにくい。プログラム配布は委員全員で行わなくてもいい

のではない。挨拶の後の5分の間が長い。

- スタートの間が長い。演目が進化している。自生協の組合員から一緒に行った孫が感動していたと聞いた。
- 迫力があつた。後日のテレビ放送で内容が更に理解できた。解説の時の人形は変えた方がよい。
- 今までで一番難しい内容と思つたが、感想では大変好評でよかった。イヤホンガイドはもっと進めるべき。
- 初めて鑑賞したがとてもよかった。子ども達の集中力にも感動した。日本の文化を伝える企画として今後も続けてほしい。

【次年度への申し送り】

- 年齢制限について、より分かりやすく広報する。
 - 挨拶から開演前の間については再度劇場に相談する。
 - イヤホンガイドのお知らせを当日プログラムに掲載する。
 - 割引券の普及促進を図る。
 - 鑑賞マナーチラシの配布は継続する。
- (2) 夏休みファミリーコンサート
- 全体的によかつた。曲に対する意見は個人の好みもある。子どもがうるさいとの意見もあつたが、企画の内容から仕方がないことと寛容であつてほしい。歌詞にふりがなは必要だった。
 - チラシと当日プログラムが同じ色合いで分かりづらい。文字も小さくて多い。文楽のようにシンプルがいい。赤色は薄暗い客席では見難い。選曲への意見は好き嫌いもある。もっと本格的な曲を楽しみたいと意見もあつたが子ども対象であることから今の内容でよい。
 - 建物ロビーからNHKホールへの入口の案内が必要。
 - デイズニーや歌謡曲など身近に感じる曲もよい。
 - 1階ロビーの案内は必要。年配の方も多いので、その年代層への選曲も必要か。合唱や手拍子など参加できる企画はよい。
 - プログラムを受け取らない人も多かつた。チラシと同じと思つたのではないか。世界に一つだけの花は短かつた。クッションが少ない。
 - 楽しめた。色んな意見があるが全体的にはよかつた。指揮者の解説が長いとの意

見もあつたが、解説で理解が広がると思う。

- スタッフとして、トイレの場所は把握しておかないといけなさと感じた。曲への意見は好き嫌いもある。夏休みは色んなコンサート企画があり、価格も生協企画より安いものもあるのでお徳感が少ないことが申し込みに反映されているのでは。
- プログラムは文字の大きさや色合いは工夫が必要。
- 感想を参考に次年度の選曲をしたい。楽器紹介がとてもよかつた。一緒に手拍子も楽しかつた。
- 座席図を事前配布したほうがいいのではないか。

【次年度への申し送り】

- 1階の案内をつける
- チラシとプログラムは色を変える。
- NHKホールにクッションを追加できないか聞く。
- 座席図の事前配布を検討する。

(4) 第1・2回ジェンダーフォーラム協議会

○第1回

【日 時】 2016年7月20日(水)
14時～16時

【場 所】 大阪府社会福祉会館 5階506

【出席者】 青松、吉村、湊(いずみ)、小林(よどがわ)、森畑(こうべ)、中村(自然派)、西浦・山崎(北大阪医療)、友繁(全労済)、惣宇利、松本、小山(府連)

以上12名

【議事概要】

- (1) 各委員より自己紹介がされた。
- (2) 松本委員を委員長に互選した。
- (3) ジェンダーフォーラム協議会の活動の経過について、特に2年スパンの計画で活動をした2014～2015年度を中心に振り返った。
- (4) 2016年度の活動について協議した。
 - ① 前回同様に、2016～2017年度の2年の計画で活動を組み立てることとした。
 - ② 各委員から男女共同参画に関わる関心ごとなど活動テーマに対する意見交換をし、「働く女性の意識向上、先進企業の事例学習」「子どもの貧困」「主に男性視点の電車内広告など未だに男性社会を思わせる事象」「家庭環境によるジェンダーの視点の格差」「LGBT 多様

な性について」「日本生協連の報告書の学習」「大阪府の取組み、ドーンセンターの取組み」「介護離職を防ぐための職場の取組み」「セカンドライフに関する取組み」「新しい時代の人間関係づくり」「昔と違う教育現場における男女共同参画教育」等の意見が出された。次回協議会にてあらためて協議し活動テーマを確認することとした。

- ③ 会報連載記事のタイトル「“女だから” “男だから” はもうやめよう」について、連載がスタートした2003年度から社会的な状況も変化し、性についても多様な性へと認識されつつある状況を踏まえ見直しをすることとした。協議の結果「サラダボウル※～ひとりひとりが輝いて～」とすることが確認された。また9月号は新タイトルの説明も含め、松本委員長が執筆することが確認された。

※サラダボウルとは、多種多様な民族が混在して暮らしている社会で、それぞれの文化が共存はしているものの混じり合うことのない分離社会のことと言います。

- ④ 次回協議会は、9月21日(水)の午後、ドーンセンターで開催することとし、ドーンセンターの事業、日本生協連「男女共同参画促進に関する今後の方向性と課題」の学習を予定することとした。

○第2回

- [日 時] 2016年9月21日(水)
13時30分～15時50分
- [場 所] ドーンセンター 5階セミナー室
- [出席者] 青松、吉村(いずみ)、小林(よどがわ)、岡本(こうべ)、中村(自然派)、西浦・山崎(北大阪医療)、友繁(全労済)、惣宇利・松本・中村・小山(府連)
以上12名

[議事概要]

- (1) 大阪府府民文化部男女参画・府民協働課男女共同参画グループの川上一恵主査を講師に、「大阪府における男女共同参画施策とドーンセンターの事業について」学習した。またドーンセンターの2階に設置されている情報ライブラリーの見学を実施した。

- (2) 前回に引き続き2016～2017年度の2年間の活動テーマについて協議した。「学生のブラックバイトの実態、社会人のスタートから債務を持つ奨学金問題、若い女性の貧困など若者ベースの社会問題や社会情勢」「女性に負担がかかる介護の問題」「子育て世代の男性が家庭や育児に関われない問題」「女性活躍と言われる中、働いていない女性への偏見」などの意見出された。意見の踏まえ「ワークライフバランスとは何か」をテーマに活動することが確認された。

- (3) 会報連載記事の編集と執筆担当について協議し、以下確認された。記事内容空欄は次回以降で内容を決める。

会報()発行日	内容	担当
2016年11月号(11/15)	学習報告「大阪府の男女共同参画施策」	友繁
2017年1月号(12/21)	私が思う男女共同参画	惣宇利
2017年3月号(3/15)		吉村
2017年4月号(4/17)		小林

- (4) 次回、第3回は11月16日(水)にて、時間を変更し、午前10時～12時に開催することが確認された。

日本生協連、他生協等

6 日本生協連県連活動推進会議参加報告

○第1回

- [日 時] 2016年7月20日(水)
13時～21日(木)12時00分
- [場 所] コーププラザ13階 特別会議室
- [出席] 41県連、日本生協連12名
- [議題]

- (1) 会長挨拶
日本生協連・副会長 新井ちとせ氏
- (2) 講演 「地域福祉と生活協同組合への期待」
厚生労働省社会・援護局 地域福祉課
消費生活協同組合業務室
室長 山本 亨氏
- (3) 日本生協連報告
日本生協連・専務理事 和田 寿昭氏
- (4) 県連活動交流
熊本県連、大阪府連、神奈川県連
- (5) 事業種別連合会からの報告
「2016年度の活動の重点と地域・県連活動」
- ① 全国労働者共済生活協同組合連合会
常務執行役員 阿野 豊氏

- ② 全国大学生生活協同組合連合会
専務理事 毎田 伸一氏
- ③ 日本医療福祉生活協同組合連合会
専務理事 東久保浩喜氏
- ④ 全国労働金庫協会
常務理事 安藤 栄二氏

(6) 分散会

○第2回

- [日 時] 2016年9月29日(木)
16時～18時
- [場 所] 名古屋栄東急 REI ホテル・3階
「ローズルーム」
- [出 席] 12府県連、日本生協連6名
- [議 題]
- (1) 開会・司会進行挨拶
 - (2) 本部議題
 - ① 奨学金問題の取り組み報告と今後に向けて
 - ② 「被爆者が訴える核兵器廃絶に向けた国際署名」について
 - ③ 賀詞交歓会招待国会議員追加について
 - ④ 「生協の社会的取り組み報告書2016」発行について
 - ⑤ 2017年4月の都市ガスの全面自由化における「経過措置料金 規制に係る指定」に関するパブリックコメントへの意見提出について
 - (3) 地連議題
 - ① 8/29近畿地区生協・行政合同会議
 - ② 10/14東海北陸地区生協・行政会議
 - (4) 事例交流<テーマ>これからの県連の役割について
 - ① 報告 京都府生協連
 - ② 各県連で交流
 - (5) 府県連の2016年度課題上期進捗、下期課題交流
 - (6) 今後の県連活動推進会議について
 - (7) 関西地連企画案内

7 関西地連運営委員会参加報告

○第1回

- [日 時] 2016年7月28日(木)
13時～16時
- [場 所] 新大阪江坂東急 REI 3階 ウッドルーム
- [出 席] 運営委員32名、日本生協連・理事監事11名
- [議 題]
- 【理事会報告と質疑応答】

《全体概況報告》

1. 日本生協連2016年6月度概況報告
 2. コープ共済連2016年6月度事業進捗報告《運営・組織関連》
 3. 一般活動報告
 4. 日本生協連第66回通常総会開催報告
 5. 「男女共同参画に関する第4次中期の行動課題の振り返りと今後の方向性」の最終報告書について
 6. 液化石油ガス流通に関わる要望書の結果について
 7. 「わが家の電気・ガス料金しらべ」調査(5月分)報告と8月分調査実施について
 8. 「平成28年度食品安全委員会運営計画(案)」に対する意見提出について
 9. 「消費者基本計画工程表」改訂素案に関する意見提出について
 10. 「電力小売営業に関する指針(改定案)」へのパブリックコメント提出について
 11. 特定商取引法・消費者契約法の改正の評価と生協への影響について
 12. 奨学金問題の取り組み報告と今後に向けて
 13. 東日本大震災復興支援、くらし応援募金の最終報告と2016年度の取り組みについて
 14. 熊本地震に関わる生協の取り組みについて
 - (1) 熊本・大分地震支援緊急募金について
 - (2) 熊本・大分地震支援緊急募金の第一次送金について
 - (3) 熊本震災支援 高齢者・障がい者支援活動報告
 - (4) コープ被災地支援センターの活動について(中間報告)
 15. 「2030環境目標検討委員会」の設置と進め方について
 16. 「平成27年度食品産業における取引慣行の実態調査報告書」について
 17. 2016年秋のTVCM制作会社と企画案の選定について
- 《商品事業関連》
18. 2016年度下期「子育て支援キャンペーン(仮称)」の実施について
 19. CO・OP商品ブランド刷新1年経過まとめと今後の課題
 20. 会員生協と日本生協連の連帯・共同化の概況報告

21. (株)地球クラブの2015年度事業報告と
2016年度事業計画案について

【関西地連報告と質疑応答】

○第2回

[日 時] 2016年9月29日(木)
13時～16時
[場 所] 名古屋栄東急REIホテル・2階
「メイブルーム」
[出 席] 運営委員30名、日本生協連・理
事監事11名、オブザーバー4名
[議 題]

《全体概況報告》

1. 日本生協連2016年8月度概況報告
2. コープ共済連2015年事業の進捗状況報告
(8月度)

《運営・組織関連》

3. 一般活動報告
 - (1) 第1回県連活動推進会議(全国版)開
催報告
 - (2) 2016ピースアクションinヒロシマ・ナ
ガサキ開催報告
4. 熊本地震に関わる取り組みについて
 - (1) 熊本地震に関わる全国の生協の取り組
みについて
 - (2) 熊本・大分地震支援緊急募金の第二次
送金について
 - (3) 熊本県生協連・コープ被災地支援セン
ター活動報告
5. 東日本大震災復興支援の取り組みにつ
いて
6. 「被爆者が訴える核兵器廃絶に向けた国際
署名」について
7. 核実験実施を発表した朝鮮民主主義人民
共和国に対する抗議声明について

《運営・組織関連》

8. 奨学金制度改善に向けた今後の進め方につ
いて
9. ラブコープ商品活動交流会の開催につ
いて
10. 2017年「全国方針検討集会」の開催につ
いて
11. 2017年3生協連賀詞交歓会の開催につ
いて
12. 社会的取り組み報告書の発行について
13. 第5回ICAリーダーシップサークル参加
報告
14. 2030環境目標の設定について(検討委員
会報告)
15. 2016年秋のテレビCM完成と関連施策の

進捗報告

《事業関連》

16. 下期の会員生協の仲間づくりの取り組み
と秋の子育て支援キャンペーンの進捗状
況について
17. 「商品お申し出対応・事故対応連携強化委
員会」を発展させた「品質保証連携強化
委員会」の設置とそれに伴う規則の改廃
について
18. 商品事業基幹システムの稼働について
《子会社・関連団体》
19. 日生協健康保険組合の財政問題について
【関西地連報告と質疑応答】

8 日本生協連各種学習会参加報告

- (1) 消費者活動交流会～地域連携で消費者市民社
会をつくる～

[日 時] 2016年7月21日(木)
13時30分～16時30分
[場 所] コーププラザ4F第3・4会議
室

[参加者] 県生協連、各生協他43名

[議 題]

- (1) 開会あいさつ・事務局説明
- (2) 報告「消費者行政の動向と消費者被害の
回復支援・拡大防止の取り組みについて」
一般社団法人全国消費者団体連絡会
事務局次長 小林真一郎氏
- (3) 学習会「高齢者への消費者被害の現状」
公益社団法人あい権利擁護支援ネット
社会福祉士 川端 伸子氏
- (4) 活動紹介「東京都と東京都生協連との協
働事業について」
東京消費者団体連絡センター
事務局長 橋本恵美子氏
「高齢者消費者被害防止の取り組み」
富山県生活協同組合連合会
磯村裕隆氏
- (5) グループ交流
- (6) 閉会

- (2) 関西エリア新地域支援事業実践交流会

[日 時] 2016年8月10日(木)
13時～17時30分
[場 所] 生協会館新大阪会議室
[参加者] 県生協連、各生協他49名
[議 題]

- (1) 開会あいさつ・事務局連絡
- (2) 基調講演「和光市における超高齢化社会
に対応した地域包括ケアシステムの実践」

和光市保健福祉部福祉政策課課長

阿部 剛氏

- (3) 日本生協連報告
福祉事業推進部 部長 山際 淳氏

- (4) 会員生協実践事例報告

① コープしが 福祉事業部統括マネージャー代行 松田 達也氏

② 京都生協 福祉事業部統括マネージャー 溝内 啓介氏

③ 奈良県連 専務理事 辻 由子氏

- (5) グループ交流

- (6) 閉会

- (3) 奨学金制度と教育費を考える学習会

[日 時] 2016年9月6日(火)
13時30分～15時45分

[場 所] 新大阪丸ビル【別館】4階会議室

[参加者] 26生協4団体 83名

[議 題]

- (1) 開会あいさつ
(2) 基調講演「今後の日本の奨学金のあり方について」
中京大学国際教養学部教授 大内 裕和氏

- (3) 閉会あいさつ（今後にむけて）
日本生協連政策企画部部长 小熊竹彦氏

- (4) 家庭用エネルギー学習会

[日 時] 2016年10月5日(水)
13時～16時15分

[場 所] プラザエフ（主婦会館）7Fカトレア

[参加者] 電力・ガス取引監視等委員会、資源エネルギー庁石油流通課、消費者庁他、20生協56名

[議 題]

- (1) 開会あいさつ、事務局連絡
(2) 日本生協連報告
家庭用エネルギーの料金制度に関わる新たな政策制度
研究会報告「私達の暮らしとエネルギーの未来～消費者の選択と参画」
組員活動部部长 二村 睦子氏

- (3) 行政からの報告

① 電力・ガス自由化の現状と課題
電力・ガス取引監視等委員会総務課長 新川 達也氏

② LPガスの料金透明化等に向けた取り組み

資源エネルギー庁石油流通課課長補佐

高野史広氏

- (4) 調査報告

① 電源構成等の情報開示に関するアンケート調査結果等
全国消費者団体連絡会

事務局次長 小林真一郎氏

② 「わが家の電気・ガス料金しらべ」から見えること

日本生協連政策企画部 部長

小熊 竹彦氏

- (5) 取り組み報告

① コープの電気事業について
大阪いずみ市民生協執行役員電気事業担当 森 晃氏

② エネルギー政策と取り組み事例～新電気事業を中心に～

パルシステム連合会地域支援本部長付 担当部長 小澤 敏昌氏

③ LPガス問題の取り組みについて
北海道生協連 事務局長

川原 敬伸氏

④ 生協灯油の価格決定と灯油モニターの活動について

宮城県生協連常務理事

加藤 房子氏

- (6) 閉会挨拶

9 第28回近畿地区生協・行政合同会議参加報告

[日 時] 2016年8月29日(月)
13時30分～17時

[場 所] 兵庫県民会館 パルテホール

[出席] 【特別報告】（敬称略）

京都大学経営管理大学院長

若林 靖永

【行政・他】

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課

消費生活協同組合業務室 生協

検査官 本間 隆

兵庫県 政策創生部長

山口 最文

企画県民部県民生活局長

東元 良宏

消費生活課長 梶本 修子

消費生活課主幹 石田 千春

同 主任 田中 祥平

同 生協検査員 片岡 明善

地域創生課企画官
井ノ本知明

京都府 消費生活安全センター
副主査 佐竹 由行

福井県 安全環境部 県民安全
課主事 中嶋 伴幸

滋賀県 県民生活部県民活動生
活課副主幹 山崎 伸子

奈良県 暮らし創造部消費生活
安全課主幹 勝井 康晴

暮らし創造部消費生活安全課主
査 高橋 弥生

和歌山県環境生活部県民生活課
課長補佐班長 中山 誠司

環境生活課主査 石井 章一

大阪府 男女参画・府民協働課
課長補佐 田邊 雅之

同 総括主査 松園 典子

【生協・他】

日本生協連 渉外広報本部渉外
部長 松本 圭司

関西地連事務局長
小林紀久子

兵庫県生協連 会長理事
副会長理事 本田 英一

専務理事 高橋 秀行

事務局次長 野間 誠

事務局担当 三輪 薫

事務局担当 大戸亜津子

尼崎医療生協専務理事
福島 哲

コープこうべNW 推進統括
政平 浩一

京都府生協連 副会長理事
畑 忠男

専務理事 高取 淳

事務局長 酒向 直之

龍谷大学生協 中村 真悠

福井県生協連 会長理事
竹生 正人

専務理事 樫尾智恵子

滋賀県生協連 専務理事
西山 実

事務局長 藤田 豊

奈良県生協連 専務理事
辻 由子

事務局長 新田 和夫

和歌山県生協連 会長理事
上田欣士郎

事務局長 藤井 延子

消費者支援機構関西 理事長
榎 彰徳

事務局長 西島 秀向

大阪府生協連 会長理事
惣宇利紀男

副会長理事 藤井 克裕

専務理事 中村 夏美

事務局長 小山 正人

計45名

【議 題】

- (1) 挨拶
近畿地区生協府県連協議会代表
兵庫県生協連会長理事 本田 英一
開催地行政 兵庫県政策創生部長
山口 最丈
- (2) 厚生労働省ごあいさつ
厚生労働省社会・援護局地域福祉課
消費生活協同組合業務室生協検査官
本間 隆
- (3) 日本生協連報告
日本生協連渉外広報本部渉外部長
松本 圭司
- (4) 特別報告
「2050年超高齢社会のコミュニティ構想
について」
京都大学経営管理大学院長
若林 靖永
- (5) 各報告への質疑応答と意見交換
- (6) 報告と意見交換
 - ① 多様性と連携が織りなす兵庫の地域創
生について
兵庫県地域創生課企画官
井ノ本知明
 - ② コープの電気事業について
大阪いずみ市民生協 理事長
藤井 克裕
 - ③ 大学生協の消費者教育の取り組みにつ
いて
龍谷大学生協 中村 真悠
 - ④ 適格消費者団体の活動報告
消費者支援機構関西理事長
榎 彰徳
- (7) 各報告への質疑応答と意見交換

10 第2回近畿地区生協府県連協議会参加報
告

【日 時】 2016年10月4日(火)
13時45分～17時15分

[場 所] コープ御所南ビル 4階会議室
[出席者] 上掛・高取・酒向・川端(京都)、
檜尾(福井)、藤田(滋賀)、辻・
新田(奈良)、上田・藤井(和歌
山)、野間・三輪(兵庫)、西島
(KC's)、柳下(関西地連)、浦田
(ろうきん)、中村・小山(府連)
以上17名

[議 題]

- (1) 第28回近畿地区生協・行政合同会議のま
とめについて
- (2) 次回近畿地区生協・行政合同会議につい
て
当番府県：大阪
開催日2017年8月30日(水)
13：30～17：00
終了後懇親会
- (3) 2016年度近畿ブロック地方消費者フォー
ラムについて
- (4) 近畿農政局との意見交換会開催について
- (5) 各府県生協連からの活動報告と交流
- (6) 日本生協連からの報告・共有化事項につ
いて
- (7) 消費者支援機構関西(KC's)からの活動
報告と意見交流
- (8) 近畿労働金庫からの活動報告と意見交流
※次回2017年3月7日 会場：兵庫県

会員及び友誼団体等

11 消費者支援機構関西(KC's)報告

○7月理事会

[日 時] 2016年7月19日(火)
18時～20時40分
[場 所] 日本生協連関西地連4階・会議
室
[出 席] 理事14/15名、監事0/2名、
検討委員会・事務局等5名

[概 要]

- (1) KC's 受付情報対応;情報内容を確認した
- (2) 2016年度検討委員の確認
- (3) 賃貸住宅保証委託契約;「訴状」案を文書
訂正行ない執行することを確認した。
- (4) インターネット宿泊予約サイト;「ご連
絡」案を字句の修正を行ない執行するこ
とを確認した。
- (5) 結婚相談所;「お問い合わせ(その5)」
案字句の修正を行ない執行することを確認
した。

- (6) 家賃遅延損害金;「ご連絡」案を字句の修
正を行ない執行することを確認した。
- (7) 活動方針・情報公開ルール改定について
確認した。

○8月理事会

[日 時] 2016年8月22日(月)
18時～20時40分
[場 所] 日本生協連関西地連4階・会議
室
[出 席] 理事13/15名、監事1/2名、
検討委員会・事務局等6名

[概 要]

- (1) KC's 受付情報対応;情報内容を確認した
- (2) 遠隔操作プロバイダ;F社に対する「ご
連絡(要請活動終了通知)」案及びD社
関する「総務省への送付文書」案につい
て確認した。
- (3) コインパーキング;「ご連絡(お問合わせ
活動終了通知)」案を執行することを確認
した。
- (4) 生命保険;「要請書」案を執行すること
を確認した。また
- (5) スポーツクラブ;「お問い合わせ」案を執
行することを確認した。
- (6) 教材付家庭教師派遣;「お問い合わせ」案
を執行することを確認した。
- (7) 情報公開ルール改定案について確認した。
- (8) 新制度の申請に向けて、業務規程等につ
いて
- (9) その他 活動計算書訂正について

○臨時理事会

[日 時] 2016年9月7日(水)
18時～20時50分
[場 所] 日本生協連関西地連4階・会議
室
[出 席] 理事12/15名、監事1/2名、
検討委員会・事務局等5名

[概 要]

- (1) 業務規程の変更について、消費者契約法
施行規則及び適格消費者団体の認定、監
督等に関するガイドラインの改正により
現在の適格消費者団体としての業務規程
の変更が10月1日までに必要となるため、
次回理事会で確認することとした。
- (2) 一連のミス報告と消費者庁からの申し
入れ事項に対する
KC'sの対応について
一連のミスに関する事実経過と、消費者
庁の申し入れ事項、KC's事務局ミーティ

ングの内容の報告を受け、指摘は真摯に受け止め、事務局体制・分担を整理をし、消費者庁、大阪市などへの法などに基づいた報告・届を適切に行っていくことを確認した。

(3) 意見書について

① 適格消費者団体連名意見書

「消費者団体訴訟制度の実効的な運用に資する支援の在り方に関する検討会報告書」について、この間の適格消費者団体としての意見をまとめ、連名で提出することを前回確認したが、9月10日の適格消費者団体連絡協議会で、修正があることも含め確認した。

- ② 「消費者契約法施行規則及び消費者の財産的被害の集団的な回復のための民事の裁判手続の特例に関する法律施行規則の一部を改正する内閣府令（案）」「適格消費者団体の認定、監督等に関するガイドラインの改訂（案）」及び「特定適格消費者団体の認定、監督等に関するガイドラインの改訂（案）」についての意見案を確認した。

○臨時理事会

[日 時] 2016年9月21日(水)
18時～21時15分
[場 所] 日本生協連関西地連4階・会議室
[出 席] 理事13/15名、監事2/2名、
検討委員会・事務局等4名
[概 要]

- (1) 提出書類の一連のミスに関する消費者庁の指示対応について報告文書など確認し、9/26までに修正案をとりまとめ提出することを確認した。
(2) 差止請求関係業務規程の変更について、修正箇所を確認し次回理事会で確認することを確認した。
(3) 代表権を有する理事について提案どおり確認した。

12 なにわの消費者団体連絡会報告

○7月度幹事会

[日 時] 2016年7月19日(火)
14時～16時30分
[場 所] KC's事務所内会議室
[出 席] 5団体
[議 題]

- (1) 調査・研究ワーキングのテーマについて

(継続協議)

- (2) 大阪府消費生活センターとの懇談会の内容について
(3) とよなかくらしかんまつり10/29の件
(4) 大阪府エコ農業推進委員会 当会へ委員委嘱の件
(5) その他報告
※8月休会

○9月度幹事会

[日 時] 2016年9月26日(月)
13時30分～16時30分
[場 所] KC's事務所内会議室
[出 席] 6団体
[議 題]

- (1) 大阪府消費生活センターとの懇談会の議題内容について
(2) 日本チェーンストア協会との意見交換会について
(3) 大阪府地域消費者団体連絡会（府消連）との合同学習会について
(4) その他報告

○10月度幹事会

[日 時] 2016年10月19日(水)
14時～16時45分
[場 所] KC's事務所内会議室
[出 席] 8団体
[議 題]

- (1) 事業者との意見交換会（日本チェーンストア協会）について
(2) 平成28年度上半期会計報告の件
(3) 「とよなかくらしかんまつり」10/29について
(4) その他報告

13 全大阪消費者団体連絡会報告

○8月常任理事会

[日 時] 2016年8月4日(木)
15時～17時30分
[場 所] 消団連 会議室
[出 席] 6団体7名
[概 要]

【報告事項】

- (1) 専門委員会の活動
① 消費者委員会
・7/27に高齢者見守り活動に関して大阪府社協にヒヤリングを実施した。
(2) 組織・財政の現状と対策
・機関紙サイクルの現況と7月末現在の会計報告がされた。

- (3) 加盟組織の活動等について
- 消費税の増税に反対する関西連絡会の代表者会議を10/12に実施する。
 - 関西消費者団体連絡懇談会が主催する関電及び大ガスとの定例懇談会について10～11月実施で調整する。8月中旬に事前質問書を送付する。
 - ほんまにええの？ TPP大阪ネットワークの連続学習会は、第2回「保険と・共済と TPP 協定」(7/28:参加20名)を実施。第3回「公共事業と TPP 協定」は9/8に開催する。秋の臨時国会での審議に向け、批准反対の立場から全国的な共同行動の呼びかけがされる。8/20の東京で集会が開催される。
 - 府営住宅削減反対連絡会では大阪府住宅まちづくりマスタープラン案への意見募集に対する対応を検討している。

【協議事項】

- (1) 総会について
- 当日運営
 - 会則の改正
- (2) 機関紙の編集・拡大などについて

○9月常任理事会

[日 時] 2016年9月7日(水)
15時～17時30分
[場 所] 消団連 会議室
[出 席] 7団体8名
[概 要]

【報告事項】

- (1) 専門委員会の活動
- 消費者委員会
 - 9/26に高齢者見守り活動に関して和泉市社協にヒヤリングを実施する。
 - 食問題委員会
 - 8/24遺伝子組換え技術にかかる学習会実施し参加59名。9/21遺伝子組換え食品の安全性をテーマに第2回目を開催する。
 - 環境問題委員会
 - 11/8に「脱原発・脱化石エネルギー、再生可能エネルギー推進の電源構成の必要性和その実現のための制度設計」をテーマに学習会を計画する。
- (2) 組織・財政の現状と対策
- 機関紙サイクルの現状と8月末現在の会計報告がされた。
- (3) 加盟組織の活動等について
- 消費税の増税に反対する関西連絡会では

10分程度の動画による学習ツール作成を検討する。

- 関西消費者団体連絡懇談会では、8/29に立命館大学の金森教授から電力会社の原子力発電の使用済み燃料再処理引当金と原子力発電施設解体引当金制度に関するレクチャーを受けた。関電と11/4に大ガスと11/22に定例懇談会を実施する。
- ほんまにええの？ TPP大阪ネットワークでは檜原正澄代表が全国共同行動の呼びかけ人に加わった。10/15に中央集会が東京で予定されている。
- 全国消費者大会の実行委員長の飯田事務局長が互選された。

【協議事項】

- (1) 総会について
- 会則の改正
- (2) TPP 批准関連法案への対応について

○第24回総会

[日 時] 2016年10月1日(土)
15時10分～17時
[場 所] ドーンセンターセミナー室
[出 席] 15団体/23団体
[議 案] 第一号議案 2014～2015年度の活動報告、決算・予算報告承認・確認の件
第二号議案 今後1年間の活動方針の決定の件
第三号議案 会則改正の件
第四号議案 役員改選の件
※全議案、賛成多数で可決
※総会前に公開学習会を開催しました。
「貧困問題とは何か、私たちの課題は？」
講師：反貧困ネットワーク大阪代表 生田 武志 様

○理事会

[日 時] 2016年10月13日(木)
16時～18時30分
[場 所] 消団連 会議室
[出 席] 7団体8名
[概 要]

【報告事項】

- (1) 専門委員会の活動
- 消費者委員会
 - 9/26に和泉市社協にヒヤリングを実施。小学校区単位での校区社協の活動、

消費者被害防止事業などについてお聞きした。

- ② 食問題委員会
 - 9/21遺伝子組換え食品の安全性についての学習会に51名が参加した。次回は表示についての学習を検討する。
- ③ 環境問題委員会
 - 11/8に「脱原発・脱化石エネルギー、再生可能エネルギー推進の電源構成の必要性とその実現のための制度設計」の学習会を関西学院大学の朴勝俊教授を講師に実施する。
 - 関西エリアの家庭向け小売り電気事業者で、電源構成・二酸化炭素排出係数の情報開示をしていない15事業者に開示を求める要望書を送付し、9月末で13事業者から回答があった。内容はHPで公表。
 - CASAと共同し府内自治体の温暖化防止対策の調査を実施する。
- (2) 組織・財政の現状と対策
 - 機関紙サイクルの現状と9月末現在の会計報告がされた。
- (3) 加盟組織の活動等について
 - 9/9に「ストップ！TPP緊急行動」集会を開催され200名の参加があった。10/22に元農林水産大臣の山田正彦を講師に学習会を開催する。

【協議事項】

- (1) 総会を受けた今後の活動について
- (2) 民放労連からの申し出に対する対応について

14 平成28年度近畿ブロック地方消費者フォーラム in ひょうご実行委員会参加報告

[日 時] 2016年8月31日(水)
12時55～15時10分

[場 所] 日本生協連関西地連3階会議室

[実行委員] 消費者庁、消費者ネットしが、滋賀県生協連、コンシューマーズ京都、京都府生協連、消費者情報ネット、全大阪消団連、なにがはな消会、大阪府生協連、NACS、全相協、ひょうご消費者ネット、Cキッズ、コープこうべ、兵庫県生協連、なら消費者ねっと、奈良県生協連、消費者ネットわかやま、兵庫県、神戸市、日本生協連（オブザーバー）

【概 要】

- (1) 平成28年度地方消費者グループ・フォーラムの開催について（消費者庁より報告）
 - ① 今年度の開催趣旨について
 - 参加者拡大を図る意味で、従来からの名称『地方消費者グループ・フォーラム』から「グループ」を外して、誰でも参加できる意味合いをもつ『地方消費者フォーラム』に今年度から変更した。
 - 「高齢者の見守り」あるいは「消費者教育」に関するものをプログラムに組み入れてほしい
 - 以前のフォーラムでの発表後の進捗状況、経過などのフォローアップの視点を取り入れてもらいたい
- (2) 平成8年度近畿ブロック実行委員会立上げ
今年度は、兵庫県で開催し実行委員会事務局団体は、C・キッズ・ネットワーク、兵庫県生活協同組合連合会（兵協連）が事務局となり、兵庫県、神戸市、コープこうべがサブで入る体制となる。
- (3) 開催日を確認した。
2017年2月20日（月） 兵庫県農業会館（兵庫県神戸市）
- (4) 実行委員長長の設置について：従来の事務局主体の体制にして、実行委員長は設置しない
- (5) 委託業者について：開催支援業務は従来、東京の専門業者に委託していたが、昨年度より開催地の事業者、消費者団体等に委託することとした。開催県内で候補をいくつか挙げ、入札により消費者庁が選定する方式をとる
- (6) テーマ、プログラム等について
 - ① プログラム：・午前中に『チェンジメーカーズ～消費者の権利のための闘い』上映と映画解説（タン・ミッシェル氏）。引き続き壁新聞交流会を実施し、午後からは
 1. 消費者庁挨拶
 2. 壁新聞リレー紹介
 3. 取組報告・フロア発言
 4. ワークショップという流れで決定。
 - 実行委員長は設置しないので、実行委員長挨拶は省く
 - 現時点では消費者庁長官の出席が難し

いので、プログラム最後の「消費者庁による講評」は省く

- ② 壁新聞リレー紹介：発言発表が続くと緩慢になるので、寸劇での発表、クイズでの発表などバラエティをもたせた発言順番を組む
 - ③ 取組報告・フロア発言：ワンセットにして40～45分枠で 報告する
 - ④ ワークショップ：昨年のアンケートでも好評だったので是非 今年も実施したい。一方的に話を聞くだけでなく、発言できることで参加の満足度上がる。
- (7) テーマ
短い文で今回の内容をカバーできるものを（昨年の例：みんなつながって実践しよう！）テーマ確定は次回に決定する。
- (8) 壁新聞出展について（ボード20枚、予備4枚を準備）
- (9) フォーラムちらしについて
次回運営委員会でテーマ・プログラム確定後、すぐに印刷にとりかかれるよう準備する。
- (10) 次回の実行委員会日程
11月2日(水)13時～15時 日本生協連関西西地連3階会議室

15 熊本地震支援／NPO 訪問ツアー参加報告

- [行 程] 2016年9月16日(金)
19：00大阪南港集合～船中泊
17日(土) 別府観光港～熊本の各被災地へバス移動～ボランティア活動～ホテル泊
18日(日) 各地でボランティア活動～別府観光港～船中泊
19日(祝) 6：45頃大阪南港解散
- [活動地域] 熊本県 熊本市、益城町、西原村
- [参加団体] 認定NPO 法人NPO ぼぼハウス、(一社) 滋賀県労働者福祉協議会、大津市市民活動センター、NPO 法人アレルギーネットワーク 京都びいちゃんねっと、のまはら「奈良県被災者の会」、奈良教育大学ボランティアサポートオフィス、NPO 法人シンフォニー、大阪ボランティア協会、コーポラティーまいど、NPO 日本防災士会大阪府本部、みんなてつくる学校とれぶりんか、和

歌山生協連、わかやま NPO センター、みなべ町社会福祉協議会、しが NPO センター、きょうと NPO センター、奈良 NPO センター、NPO 法人日本災害救援ボランティアセンターネットワーク、阪神 NPO 連絡協議会、わかやま NPO センター、近畿ろうきん、九州労働金庫、大阪府生活協同組合連合会 30名

[内 容]

2016年度の《近畿ろうきん NPO パートナシップ制度》により、近畿圏の NPO 支援センターと連携し、「熊本地震の被災地および被災者への復興支援活動」を実施し、現地で活動する NPO との連携による、①「日常の専門性を活用」したボランティア活動を行うこと②各テーマに関わる現地支援団体の震災時の教訓などに学び、関西での災害への備えとすること、を活動の目的としました。3つのテーマ毎にコースを設定し、「高齢者・コミュニティ支援」「障がい者支援」「子ども支援」の各コースの活動に10名ずつが参加しました。今回の活動を通し、ボランティア活動を行いながら、各テーマにおける災害時の対応を学ぶことができました。また、これまで交流がなかった団体がお互いを知り合い、顔の見える関係づくりを災害時の活動連携につなげていく取り組みの必要性をあらためて考える機会となりました

16 生協総合研究所第26回全国研究集会参加報告

- [日 時] 2016年9月24日(土)
10時～16時30分
- [場 所] 明治大学駿河台キャンパス リバティタワー1階 1011教室
- [参 加 者] 237名
- [テ ー マ] 組合員参加と購買行動の相互関係を解明する

[議 題]

- (1) 開会挨拶 生源寺眞一
(生協総合研究所理事長、名古屋大学大学院教授)
- (2) 「生協における『組合員参加』を考える」
中川雄一郎 (明治大学教授)
- (3) 講演①「生協のこれからと組合員の参加」
上田隆穂 (学習院大学教授)
講演②「組合員の購買行動と社会的価

値)
氏家清和（筑波大学准教授）
報告「組合員の参加と購買行動研究会
について」

近本聡子（生協総合研究所研究員）
分析報告①「組合員の参加は生協のロイ
ヤルティ形成に寄与している
か」

中村由香（生協総合研究所研究員）
分析報告②「類型別に見た組合員参加の
効果」

宮崎達郎（生協総合研究所研究員）

- (4) パネルディスカッション①
「分析結果は何を意味するのか？」

【パネリスト】

氏家 清和（筑波大学教授）
西門 正徳（コープこうべ）
藤井 親継（コープみらい）
二村 睦子（日本生協連）
星野 浩美（コープさっぽろ）

【司会】 近本 聡子

パネルディスカッション②

「これからの組合員参加を考える」

【パネリスト】

北濱 利弘（三菱食品株式会社）
中島 智人（産業能率大学准教授）
茂木 伸久（日本生協連）
若松 恵子（生活クラブ生協・東京）

【司会】 上田 隆穂

- (5) 閉会挨拶

17 医療生協「健康チャレンジ実行委員会」

○第6回

【日 時】 2016年10月7日(金)
15時～17時
【場 所】 大阪府社会福祉会館 5階506
【出 席】 きづがわ、かわち野、北野田、
けいはん、ヘルス、なにわ、羽
曳野、福島、南大阪、よどがわ
保健、府連

【概 要】

- (1) 現在到達状況 6800/10000
目標達成 けいはん、ほくせつ
(2) 参加賞、グループエントリー賞の件
(3) ゴール集会の件
日時：2017年2月16日(木) 14時～17時
場所：都島区民センター
参加目標：300人
内容：学習講演 土井龍男さん「セーフ

ティウォーキング」

- (4) 今後の課題 まとめ、後援団体への報告
など

行政等

18 第1回大阪府消費者保護審議会参加報告

【日 時】 2016年9月6日(火)
10時～11時30分

【場 所】 日本赤十字社大阪府支部 401
会議室

【出 席】 14名（17名中）

【議 題】

- (1) 大阪府の消費者施策について
・平成27年度相談概要、大阪府消費者施
策の実施状況について
・消費者教育の推進について

- (2) その他

【概 要】

- (1) 大阪府の消費者施策について
・平成27年度相談概要、大阪府消費者施
策の実施状況について
・消費者教育の推進について
・高齢者の見守り支援について
以上報告があり、意見交流をおこなっ
た。

19 大阪府880万人訓練参加報告

【日 時】 2016年9月5日(月)
10：45～12：00

【会 場】 泉佐野食品コンビナート、いこ
らもーる泉佐野

【参加内容】 いこらもーる臨時駐車場にて防
災関連ブースの出展

- ① 大阪府危機管理室からの出展要請を受
け、いこらもーるに店舗出店するいずみ
生協に協力いただき出展した。
② 内容は、いずみ市民生協のこの間の災害
支援活動の紹介、救急物資輸送車両バナ
ーをつけた配送トラックの展示、防災関
連商品の紹介、地震体験クイズの実施。

20 平成28年度近畿地方液化石油ガス懇談会参 加報告

【日 時】 2016年9月30日(金)
13時～16時30分

【場 所】 阪急ターミナルスクエア・17
(ふじ)

【参 加 者】 福井県消費者グループ連絡協議

会、湖国女性農業委員協議会、NPO 法人コンシューマーズ京都、NPO 法人関西消費者連合、大阪府生活協同組合連合会、兵庫県消費者団体連絡協議会、奈良県地域婦人団体連絡協議会、和歌山県くらしの研究会、一般社団法人福井県 LP ガス協会、一般社団法人滋賀県 LP ガス協会、一般社団法人京都府 LP ガス協会、一般社団法人大阪府 LP ガス協会、一般社団法人兵庫県 LP ガス協会、一般社団法人奈良県 LP ガス協会、一般社団法人和歌山県 LP ガス協会、甲南大学法科大学院、福井県安全環境部危機対策・防災課、滋賀県総合政策部防災危機管理局消防・保安係、京都府府民生活部災害対策課、大阪府庁危機管理室消防保安課、兵庫県企画県民部災害対策局産業保安課、奈良県地域振興部エネルギー政策課、和歌山県総務部危機管理局危機管理・消防課、福井県安全環境部県民安全課、兵庫県生活科学総合センター、和歌山県環境生活部県民局県民生活課、経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部石油流通課、近畿経済産業局資源エネルギー環境部、近畿経済産業局資源エネルギー環境部資源・燃料課、中部近畿産業保安監督部近畿支部保安課、一般財団法人エルピーガス振興センター【オブザーバー】全大阪消費者団体連絡会
43名

【議 題】

- (1) 開会挨拶
近畿経済産業局資源エネルギー環境部
電源開発調整官 山本 陽一氏
- (2) 基調説明
 - ① 「LP ガスの料金透明化等に向けた取組」
経済産業省資源エネルギー庁 資源・燃料部石油流通課
課長補佐 高野 史広氏
 - ② 「液化石油ガス (LPG) の安全な使用についてのお願い」

中部近畿産業保安監督部近畿支部保安課 液化石油ガス

監督官 伊藤 信一氏

- (3) 地方自治体からの意見・相談事例紹介について

自治体消費生活課

- (4) LP ガス料金透明化等について
 - ① 「わが家の電気・ガス料金しらべ報告書 (5 月分) 大阪府版」
大阪府生活協同組合連合会

専務理事 中村 夏美

- (5) 消費者委員による意見表明・事前質問について

- ① 消費者委員より意見表明及び意見交換
- ② 消費者委員の事前質問への回答

- (6) 総括 甲南大学法科大学院 教授

土佐 和生氏

21 食と防災シンポジウム2016参加報告

- [日 時] 2016年 9 月 2 日(金)
13時20分～16時20分
- [場 所] 相愛学園本町学舎 講堂
- [主 催] 大阪府、農林水産省近畿農政局、相愛大学、大阪青山大学、公益社団法人大阪府栄養士会
- [後 援] 大阪府食生活改善連絡協議会、大阪府食生活改善推進員協議会
- [議 題]
- (1) 開会あいさつ
 - (2) 講演「最近の災害時における避難所等の食環境について」
兵庫県立尼崎総合医療センター栄養管理部栄養管理課栄養管理部次長兼栄養管理課長 下浦 佳之氏
 - (3) パネルディスカッション
テーマ
「食の視点で今、もう一度考えよう！自助・共助・公助」
「ほんとに役立つ防災準備」
パネラー
相愛大学客員教授 坂本 廣子氏
「避難所でもよりよい食事提供に向けた行政栄養士の役割」
大阪府健康医療部保険医療室健康づくり課 総括主査 中村 清美氏
コメンテーター
大阪青山大学教授 藤原 政嘉氏
兵庫県立尼崎総合医療センター栄養管理部栄養管理課栄養管理部次

長兼栄養管理課長

下浦 佳之氏

コーディネーター

相愛大学教授 太田 美穂氏

(4) 閉会挨拶

22 食の安全安心シンポジウム参加報告
「輸入食品は危ない」は本当なの？～食品
情報の見極め方～

[日 時] 2016年9月27日(火)
14時～16時30分
[場 所] 大阪府新別館北館4階多目的ホ
ール
[主 催] 大阪府
[共 催] 大阪市、堺市、豊中市、高槻市、
枚方市、東大阪市、関西空港検
疫所

[議 題]

- (1) 基調講演「科学情報はなぜ正しく受け取
られないのか～食品リスクを念頭に～」
京都大学名誉教授 木下 富雄氏
- (2) パネルディスカッション&意見交換
「輸入食品は危ない」は本当なの？～食品
情報の見極め方～
コーディネーター
大阪大学COデザインセンター准教授
八木 絵香氏

パネリスト

京都大学名誉教授 木下 富雄氏
日本経済新聞社デジタルビジネス
局企画委員 中野 栄子氏
関西空港検疫所食品監視課長
楠 博文氏
元大阪府食の安全安心推進協議会
公募委員 武田智津枝氏

(3) 閉会

理事・監事研修会「第2回経営分析の基礎」を開催しました

10月6日(木)、大阪府社会福祉会館にて、第2回理事・監事研修会を開催しました。

7月に開催した第1回では「生協における役員の職務・責任」「監事の監査業務と環境整備の課題～第4回監事監査実態調査の結果を踏まえて～」をテーマに学習しましたが、今回は、「経営分析の基礎」をテーマに実施しました。12会員生協から53名が参加しました。

日本生協連 法規会計支援部の川渕さんを講師にお招きし、「決算関係書類の見方」「経営分析とは?」「収益性の分析」「安全性の分析」「生産性の分析」に関して学習しました。また、一般スーパーと関東圏の生協さんの、実際の2015年度の決算関係書類を教材に、経営分析シートの作成と、各特徴についてのディスカッションを行いました。

【参加者の声】

- ・ 決算関係書類の見方について基礎から理解することができた。
- ・ グループで色々考えを話し合ったのがよかった。
- ・ スーパーと比較することで生協の特徴がよくわかった。
- ・ 経営分析の指標をもとにした考え方が整理できた。
- ・ 出てくる用語がむずかしいと日頃感じていました。苦手な分野ですがわかりやすく解説していただいた。
- ・ 医療生協向けの講座をしていただきたい。
- ・ 業務形態によって理想値があることが理解できた。
- ・ 自生協の理事会資料の内容がこれからは詳しくわかるようになりました。



熊本地震支援活動 「こーぷ喫茶」でたこ焼きしました

4月に発生した熊本地震の被災者支援活動として、生協くまもとさんが、仮設住宅の集会所で、サロン活動「こーぷ喫茶」を9月から展開されています。

11月3日(木)、4日(金)に、この「こーぷ喫茶」で、たこ焼きパーティを実施しました。

今回の活動は、大学生を中心に4名のボランティアと、事務局2名の6名の体制で熊本に行きました。11月3日(木)朝一の飛行機で熊本入りし、生協くまもとの益城町の事務所で迫(はざま)副理事長と合流後、この日の活動場所、益城町安永地区の仮設住宅に到着しました。生協くまもと復興支援センターの事務局の方々、組合員ボランティアスタッフの皆さんと顔合わせ・ご挨拶の後、準備をしました。

この日の「こーぷ喫茶」は、組合員ボランティアの方のギター演奏と歌の企画もあり、たこ焼きを焼きながら、食べながら、生演奏を聞いたり、皆で歌ったりしました。祝日ということで子ども達の参加もありました。たこ焼きの後は、ビンゴゲーム大会を実施しました。

翌4日(金)は、熊本市の南部、城南町塚原地区の仮設住宅で実施しました。昨日とは組合員ボランティアメンバーの方達も変わり、あらためて自己紹介・ご挨拶の後、準備をすすめました。大阪から持ってきた、カット済みのタコ、みじん切りの紅しょうがを昨日で使い果たしたので、この日は熊本で購入したものを使用しました。タコ、紅しょうがとも細かくカットするところからの準備でした。平日ということもあり、参加者は大人の方ばかりとなりましたが、たこ焼きを一緒に焼いたり、参加者同士がお話したり、昨日とはまた違う雰囲気での交流ができました。

あっという間の二日間の活動でしたが、「大阪からよく来てくれたね」「たこ焼きおいしかったよ」と本当に喜んでいただけました。

次回は、12月3日と4日に開催される映画会で、たこ焼きを焼きます！

(画像は11月3日のもの)



平成28年度 近畿地方整備局・大阪府・堺市 合同総合防災訓練に参加しました

11月6日(土)、「平成28年度 近畿地方整備局・大阪府・堺市合同総合防災訓練」に参加しました。

訓練会場は、堺市堺区の大阪湾の埋立地にあつて、大規模災害発生時に全国から寄せられる緊急支援物資の受入拠点として、国土交通省近畿地方整備局が管轄する堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点「近畿圏臨海防災センター」で行われました。

当日は、防災啓発コーナーにブース出展し、地震発生時の初期行動について、簡単なクイズで学ぶ「地震体験クイズ」、震災に備えた準備や、大規模災害発生時における全国の生協の支援活動等についての展示、また生協で企画している防災関連商品の展示を行いました。

天候にも恵まれ、お子さん連れの参加者も多く、親子でクイズを通じて、学習いただきました。



サラダボウル

～ひとりひとりが輝いて～

2016年9月21日（水）、ドーンセンター（大阪府立男女参画・青少年センター）において2016年度第2回ジェンダーフォーラム協議会を開催しました。

※※ ※※ ※※

【大阪府の男女共同参画施策の学習】

まず、大阪府府民文化部男女参画・府民協働課 男女共同参画グループ 川上一恵様から「大阪府における男女共同参画施策とドーンセンター事業について」スライドとデータを用いた学習を受けました。日本において、ジェンダーギャップ指数は145ヶ国中101位、大阪府の女性の就業率は47都道府県中45位、大阪府民意識調査で、男は仕事、女は家庭と思う男性割合は約半分いるという現状を認識し、性別に関する役割分担が日常に浸透していることを強く感じました。



そのような現状を踏まえ、大阪府の男女共同参画施策は仕事・家庭・社会生活を男女が互いに協力し、ワーク・ライフ・バランスを推進していくプランとなっています。ドーンセンターは、男女共同参画社会をめざす様々な活動を情報でバックアップするために、図書、行政資料視聴覚資料、各種データ等を収集提供しています。

【府の男女共同参画推進拠点、ドーンセンターの情報ライブラリーを見学】

学習の後、参加者全員でドーンセンター2階情報ライブラリーを見学しました。

情報ライブラリーは、1994年ドーンセンター設立時開室し、大阪府からの受託で4つの団体からなるドーン運営共同体が運営しています。

現在図書が約4万3千冊、行政資料が約1万3千冊、DVDなどの視聴覚資料が2千3百点、雑誌約1千7百タイトル、約5万5千冊が収蔵されています。

情報ライブラリーの資料は、「女性の問題の解決や男女共同参画社会をめざす、さまざまな活動を情報でバックアップする」ことを目的に、選書基準に従って収集されています。



収集している情報は、女性情報です。女性情報とは、①女性の地位向上、女性問題解決の資源となる情報②ジェンダーの視点で女性、男性に関わる諸問題を明らかにした情報③男女の意識の変革や男女平等に向けての行動、政策化を促す情報 を指します。女性のための図書館ですが、家事や美容、生活に関するものだけではなく、性別にとらわれず女性がいきいきと自分らしく生きていくことをバックアップできるような情報が提供されています。当日は“資料で見る日本ウーマン・リブ史展”が展示しており、先人の女性たちの活動を知ることができました。

【ジェンダーフォーラム協議会の活動テーマを議論～

ワークライフバランスを多様な切り口から考えてみよう～】

見学の後、2016年～2017年度の2年計画について協議し、活動テーマを確認しました。前回出てきた関心事、「子どもの貧困」「セカンドライフの取組み」「奨学金問題」「新しい時代の人間関係づくり」などを含めて、働き方・暮らし方・遊び方を考えること、すなわちワーク・ライフ・バランスについて多様な切り口から議論することが決定しました。ワーク・ライフ・バランスは言葉について知っているつもり、やっている気持ちになりますが、世代によって、立場によって、働く側、企業側によって異なります。2年間を通じて、ジェンダーフォーラム協議会参加者がワーク・ライフ・バランスについてひとつの共通した考え方・認識を持つことを目標としました。

次回以降は、参加者の興味に沿って先進事例等からの学びをし、学習後援会を企画していく予定です。

(報告：ジェンダーフォーラム協議会委員／全労済大阪府本部 友繁 明子)

スケジュール

11月

- 3日 熊本地震支援①（～4日）
- 5日 平成28年度 近畿地方整備局・大阪府・堺市合同総合防災訓練
- 15日 会報 No325発行
- 16日 第3回ジェンダーフォーラム協議会
- 17日 生協大会・第5回生協大会実行委員会
- 24日 第3回大規模災害対策協議会
- 24日 消費者支援機構関西理事会

12月

- 3日 熊本地震支援②（～4日）
- 8日 第4回理事会
- 8日 消費者支援機構関西理事会
- 21日 会報 No326発行

1月

- 10日 日本生協連政策討論集会（～11日）
- 19日 第5回理事会
- 19日 新年講演会
- 23日 消費者支援機構関西理事会
- 25日 第1回文楽・コンサート実行委員会
- 26日 第3回関西地連運営委員会
- 27日 第3回組織活動委員会